

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・定例会の中で、地区別子育て支援連絡会やイベントなどの課題について共有し、どのように事業を進めていくか検討することが出来た。
・重点目標や事業の目的、それぞれの役割を確認しながら事業計画を立てることが出来た。

【今後改善が必要と思われること】

・今後事業をさらに充実させていくために、目的や評価指標、役割を明確にしたうえで事業を計画する必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・定例会で事業の実施状況や参加者の様子を共有し、率直な意見交換をして適宜改善するよう努めた。

【今後改善が必要と思われること】

・養育者とスタッフの関係に留まらず、養育者同士の主体的な交流が生まれるような仕掛けづくりをしていく必要がある。
・地域の関係機関・関係者に子育てに関する課題を発信していく必要がある。
・関係機関とともに拠点から遠い地域の支援の充実を目指し、取組を検討していく。
・地域の養育者のニーズを踏まえ、効果的な情報の配信ができるよう心掛けていきたい。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・ボランティアを探そうえて、区と拠点の認識の違いを確認することが出来た。
・コロナ禍においても感染対策を実施やオンラインでの開催など、開催方法の工夫をしながら事業を実施した。

【今後改善が必要と思われること】

・子育てに関するニーズ把握および課題を分析し、地域の養育者・関係者にわかりやすく伝え、課題の解決に向けた取り組みを検討していく。
・拠点ひろばスタッフが一定のスキルを持って相談対応できるように取り組んでいく。
・ひろばの利用者に地域の偏りがあるため、出張ひろばや親と子のつどいの広場との連携を検討していく必要がある。